



## ネコは、あめやあんこを<sup>た</sup>食べないのはなぜ

### ネコは<sup>にくしょくどうぶつ</sup>肉食動物だから

ネコは、<sup>あじ</sup>味よりも、<sup>た</sup>においで、<sup>はんだん</sup>食べていいものかどうかを判断します。ですから、あまり<sup>へん</sup>変なものは口に入れません。おいしい<sup>くち い</sup>そうなおいがかしななければ、よっぽどおなかがすいていないかぎり、<sup>た</sup>食べません。ネコが好きなのは、<sup>にく さかなるい</sup>肉や魚類で、<sup>にく しぼう</sup>肉の脂肪や、<sup>しつ</sup>たんぱく質のにおいのするものです。いちど<sup>た</sup>食べた、<sup>もの</sup>おいしい物のにおいを、<sup>おぼ</sup>しっかり覚えています。

ただし、<sup>こ</sup>子ネコのときから、<sup>た</sup>しょっちゅう、<sup>そだ</sup>あんこなどを食べさせられて育ったネコは、<sup>よろこ</sup>喜んで<sup>た</sup>食べることがあります。たくわんが<sup>す</sup>好き、<sup>か</sup>なんていう変わったネコもいます。

### ネコの舌は、<sup>かん</sup>あまさを<sup>し</sup>感じない

ネコの舌には、<sup>しお</sup>塩からい、<sup>にかい</sup>にがい、<sup>かん</sup>すっぱいを感じる<sup>ところ</sup>所はありますが、<sup>かん</sup>あまさを<sup>ところ</sup>感じる所は、ほとんどありません。だから、<sup>にんげん</sup>人間のように<sup>だいす</sup>あまいものが大好き、というネコは、<sup>い</sup>ないはずです。人間と<sup>にんげん</sup>いっしょにくらして、<sup>た</sup>あまいものを<sup>しゅうかん</sup>食べる習慣がついたネコが、<sup>た</sup>あまいものを<sup>た</sup>食べるといわれています。

ネコは、<sup>にが</sup>苦い<sup>くすり</sup>薬などを、<sup>くち い</sup>むりやり口に入れられると、<sup>えき</sup>よだれを<sup>た</sup>だらだらたらしめます。だ液で、<sup>あじ</sup>いやな味を<sup>あら</sup>洗い流しているのです。

### ネコは、<sup>くさ</sup>なぜ草を<sup>た</sup>食べる

ネコは、<sup>くさ</sup>ときどき草を<sup>た</sup>食べます。<sup>たいちよう</sup>体調が<sup>わる</sup>悪いとき<sup>た</sup>食べるとか、<sup>からだ</sup>体を<sup>い</sup>なめたとき、<sup>はい</sup>胃に入<sup>け</sup>った毛を<sup>まる</sup>丸めて<sup>はい</sup>排せつするのに、<sup>た</sup>食べた草が<sup>つか</sup>使われるとか、<sup>い</sup>われています。はっきりしたことは、<sup>わ</sup>わかっていません。(監修・今泉 忠明)

